報告課題　地理探究　第2部 第2章9節 ～ 第3部 第1章2節　第9回

◎教科書『新詳地理探究』P.296～335 を読んで，次の問題に取り組みましょう。

1.「アメリカ合衆国」についての問題です。

問1　アメリカ合衆国の自然環境について，空欄に入る適語を語群から選び，記号で答えなさい。

解答番号 1～8　知識・技能

〔1〕アメリカ合衆国の地形は，東西で大きく異なる。西側には変動帯の一部をなす急峻な（　1　）山脈が南北にはしっている。東側には安定地域の一部をなす（　2　）山脈があり，標高は高くはないが，何本もの山地と谷が交互に連なっている。東西の山脈の間には，中央平原や台地状の大平原である（　3　）が広がる。北アメリカ大陸で最も長い（　4　）川は中央平原を南へ流れ，メキシコ湾に注ぐ。4 川の西側には（　5　）とよばれる草原が広がり，世界的な農業地帯となっている。

ア．アパラチア	イ．プレーリー	ウ．ブリザード	エ．グレートプレーンズ
オ．コロラド	カ．ミシシッピ	キ．ロッキー	ク．リオグランデ

〔2〕アメリカ合衆国の気候は東側の湿潤な気候と西側の乾燥した気候に分かれるが，それは西経何度付近が境となっているか，答えなさい。　西経（　6　）度

〔3〕カリフォルニア海流や亜熱帯高圧帯の影響を受けて太平洋沿岸に広がる気候区を答えなさい。（　7　）

〔4〕フロリダ半島南部は熱帯の気候に属するが，この地域に夏になると襲来する熱帯低気圧を何というか，答えなさい。（　8　）

問2「移民国家としてのアメリカ合衆国の発展」について，次の各問に答えなさい。

解答番号 9～11，13～14　知識・技能　解答番号 12　思考・判断・表現

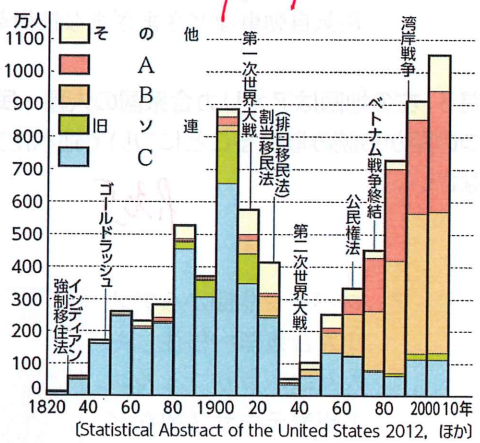
〔1〕アメリカ合衆国を建国し，初期入植者の流れをくむアングロサクソン系，プロテスタントの白人の人々は何とよばれるか，カタカナで答えなさい。（　9　）

〔2〕1862 年に成立した，開拓民が5年間定住して開墾にあたった場合に，連邦政府から公有地を無償で得られる制度を定めた法を何というか，答えなさい。（　10　）

〔3〕スペイン語圏からアメリカ合衆国へ移住してきた人々は何とよばれるか，答えなさい。（　11　）

〔4〕右のグラフは，19 世紀前半から 21 世紀の初めにかけてのアメリカ合衆国の出身地別移民数の推移を示したものである。凡例Ａ～Ｃは，ヨーロッパ諸国，アジア諸国，中南米諸国のいずれかである。出身地域とＡ～Ｃの正しい組み合わせを下のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。（　12　）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
ヨーロッパ諸国	A	A	B	B	C	C
アジア諸国	B	C	A	C	A	B
中南米諸国	C	B	C	A	B	A



(Statistical Abstract of the United States 2012, ほか)

〔5〕アメリカ合衆国の大都市では，外国人や移民が集中して居住する現象がみられる。「チャイナタウン」「イタリア人街」「ユダヤ人街」などはその好例である。このように，所得水準・社会階層・民族などによって居住地が分離・住み分けられている現象を何というか，カタカナで答えなさい。（　13　）

〔6〕アメリカ合衆国においても，大都市の都心部で住環境が悪化し，夜間人口が減って，近隣関係などが崩れ，行政区の存立が危うくなるような地域が生まれている。このような地域で起こっている問題を何というか答えなさい。（　14　）

問3　アメリカ合衆国の農業，食料生産について，次の各問に答えなさい。

解答番号 15～16　　思考・判断・表現

〔1〕右の表は，アメリカ合衆国，日本，フランスの農業生産性を，４つの指標から比較したものである。表中のア～ウは，前述の３か国のいずれかである。このうち，アメリカ合衆国の農業生産性を示したものを一つ選び，記号で答えなさい。

（　15　）

	ア	イ	ウ
耕地1haあたりの肥料消費量	275.1	163.6	126.6 kg
耕地1haあたりの穀物収量	6134	6829	8196 kg
農民1人あたりの穀物収量	4.6	90.7	214.6t
農民1人あたりの耕地面積	1.6	27.7	73.6 ha

(2018年)(FAOSTAT，ほか)

〔2〕アメリカ合衆国は日本よりはるかに国土が広いため，農業経営において随所に合理化と効率化が行われてきた。その具体的な内容について説明した文として適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。

（　16　）

ア．広大な農地で効率的に生産を行うため，早くから農業機械が開発・導入されてきた。

イ．乾燥地域であるグレートプレーンズでは，外来河川を利用した大規模な灌漑が普及し，従来の家畜の放牧地が農地へと変化した。

ウ．農産物の生産や流通，販売，種子の開発など，多岐にわたる事業を展開しているアグリビジネスは，アメリカ合衆国の農業の発展に大きく寄与してきた。

エ．より多くの単位面積あたりの収量を得るため，化学肥料の投入や品種改良を積極的に行い，近年は，除草剤の影響を受けない遺伝子組み換え作物が普及し，農業生産を安定させる役割を担っている。

問4　アメリカ合衆国の製造業と新しい産業について述べたA～Cの文について，時代の古い順に正しく並んでいるものを，右のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。

解答番号 17　　思考・判断・表現

（　17　）

A：第３次産業の発展や南部の工業地域の台頭なども相まって，北東部や中西部の伝統的な工業地域では閉鎖される工場が出現し，失業者が増大した。

B：国内の内陸航路や鉄道などの交通インフラがしだいに整備され，石炭，鉄鉱石，原油などが大量に供給されるようになった結果，製造業の拠点は大西洋沿岸から，アパラチア山脈より西の地域や五大湖周辺となった。

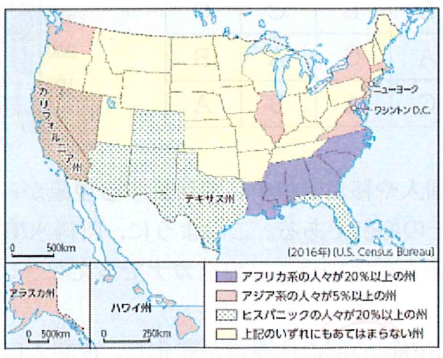
C：カリフォルニア州ではICT関連産業が急成長し，シリコンヴァレーとよばれる一大拠点が形成され，コンピュータ基盤やソフトウェアの開発に加え，電気自動車などさまざまな技術革新が進められた。

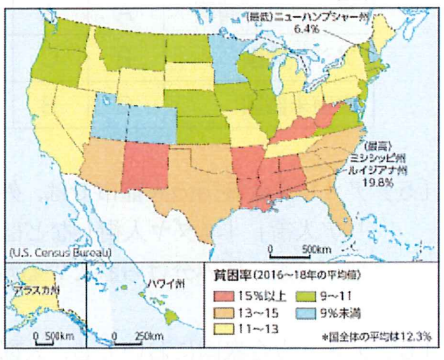
ア．A→B→C
イ．A→C→B
ウ．B→A→C
エ．B→C→A
オ．C→A→B
カ．C→B→A

問5　左の地図はアメリカ合衆国の人種・民族の分布を示し，右の地図はアメリカ合衆国の貧困率を示している。二つの図から読み取れることについて述べた文として適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。

解答番号 18　　思考・判断・表現

（　18　）





ア．スペイン語圏からアメリカ合衆国へ移住した人々は，カリフォルニア州やテキサス州などの南西部に多い。

イ．アジア系の人々は太平洋沿岸を中心に居住しているが，内陸部でも５％以上を占める州がある。

ウ．東部の内陸地域や南部では，貧困率の高い州がみられる。

エ．アフリカ系の人々が多い州は，比較的貧困率が低い傾向がみられる。

2.「ラテンアメリカ」についての問題です。

問1　ラテンアメリカの自然環境について，空欄に入る適語を語群から選び，記号で答えなさい。

解答番号 19～25　知識・技能

〔1〕中央アメリカや南アメリカ大陸の西側の地域は，太平洋を取り巻く変動帯の一部であり，（　19　）山脈が南北に縦走している。大陸の東側には，19 山脈を水源とするさまざまな河川が流れる。それらが集まった最も大きな河川が（　20　）川であり，ギアナ高地と（　21　）高原に挟まれた赤道付近を東へ流れ，大西洋に注ぐ。流域は（　22　）とよばれる熱帯雨林が覆う平坦地が多くを占めている。

〔2〕21 高原にはセラードや（　23　）が広がり，かつては牧畜に利用されたが，近年は広大な耕地となっている。

〔3〕21 高原南部や 19 山脈から南へ向かって流れた水は，（　24　）川などを経由して大西洋へ注ぐ。この流域には広大な平野が広がり，アルゼンチン中央部の大草原は（　25　）とよばれる。

ア．アマゾン	イ．アルゼンチン	ウ．アンデス	エ．オリノコ	オ．カンポ
カ．セルバ	キ．パタゴニア	ク．パンパ	ケ．ブラジル	コ．ラプラタ
サ．リャノ	シ．ロッキー			

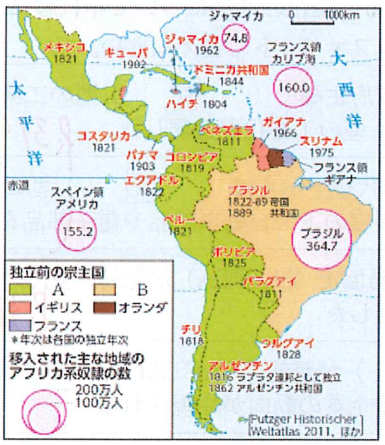
問2　現在のラテンアメリカを理解するためには，その歴史的背景と関連づけて考察することが重要である。「ヨーロッパの影響が強い社会」について，次の各問に答えなさい。

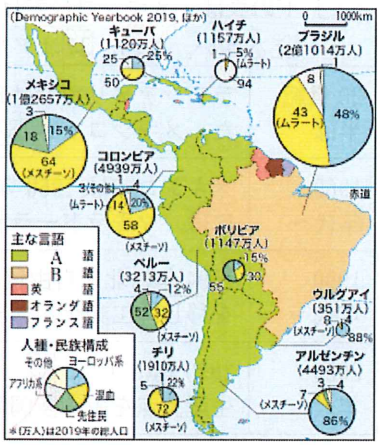
解答番号 26～28　思考・判断・表現

〔1〕左の地図はラテンアメリカ各国の旧宗主国と移入されたアフリカ系奴隷の数を示し，右の地図はラテンアメリカの主な言語と人種・民族を示したものである。凡例A，Bにあてはまる旧宗主国名を，それぞれ答えなさい。

A（　26　）

B（　27　）





〔2〕右の二つの図を参考にして，ラテンアメリカについて述べた文として適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。

（　28　）

ア．現在，それぞれの国で使用されている主な言語は，旧宗主国の言語とほぼ対応している。

イ．メキシコやアンデス地域では，他国に比べて先住民の割合が高い国が多いが，国内においては，ヨーロッパ系と先住民との混血の人々の割合が高い国もある。

ウ．中央アメリカやブラジルは，他国に比べてアフリカ系の人々の割合が高い国が多いが，どの国においても国内には，混血の人々はほとんど居住していない。

エ．アルゼンチンやウルグアイでは，先住民の割合が少なく，ヨーロッパ系の人々が人口の圧倒的多数を占めている。

問3　ラテンアメリカの農業と農業の変化について，次の各問に答えなさい。

解答番号 29～30　知識・技能　解答番号 31　思考・判断・表現

〔1〕下の文中の空欄【　P　】に入る適語を，漢字で答えなさい。（　29　）

ラテンアメリカでは，ヨーロッパから【　P　】制が持ち込まれ，それが農業と農業社会の基盤となった。【　P　】制の大農園では，地域の自然環境に合った商品作物が栽培され，カリブ海地域やブラジル南東部では（　a　）農園が，中央アメリカやコロンビア，エクアドルでは，外国資本の強い影響力の下で（　b　）農園が営まれ，ブラジル高原南部では（　c　）農園が発達した。

〔2〕〔1〕の文中の空欄a～cには，コーヒー，さとうきび，バナナのいずれかの農作物名が該当する。農作物名とa～cの正しい組み合わせを右のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。（ 30 ）

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
コーヒー	a	a	b	b	c	c
さとうきび	b	c	a	c	a	b
バナナ	c	b	c	a	b	a

p.312

〔3〕ラテンアメリカの近年の農業の変化について説明した文として適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。（ 31 ）

p.313

ア．アメリカ合衆国やヨーロッパに本社をもち，アグリビジネスを展開する多国籍企業が進出し，企業的な農業経営への転換が進んだ地域もみられる。

イ．ブラジルでは，大型機械を導入した大豆やとうもろこしの大規模生産が拡大し，肉牛の飼育頭数も大幅に増加した。

ウ．国際市場向けの新たな農業が各地で盛んになっており，自給的な食料生産や輸出用の限られた種類の農産物の生産から，農業の多角化への取り組みが進められている地域もある。

エ．アルゼンチンでは，大型機械の導入により農業全体の生産力を高めたが，環境への影響を配慮し，農薬や化学肥料を使用せず，遺伝子組み換え作物の栽培も行われていない。

p.313

問4 ラテンアメリカの工業について，次の各問に答えなさい。

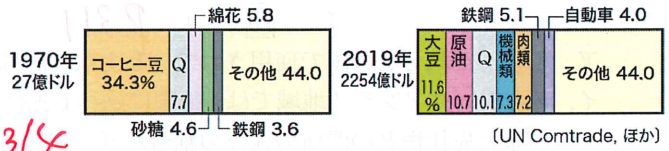
解答番号 32～34 知識・技能 解答番号 35～36 思考・判断・表現

〔1〕下の表は，メキシコにおける工業化の進展について年代順に示したものである。表中の空欄に入る適語を答えなさい。なお，34はアルファベットで答えなさい。

20世紀半ば	ラテンアメリカでは政府主導で（ 32 ）型の工業化が促進され，外国資本が積極的に導入された。メキシコでも 32 型の工業化が進展した。
1960年代～	メキシコでは1960年代後半からは（ 33 ）型の工業化が進み，アメリカ合衆国との国境沿いには，マキラドーラ制度の下で自動車部品や電子部品を製造する輸出向けの加工工場が集積した。
1990年代～	1994年に北米自由貿易協定（NAFTA）が発効。多くのアメリカ合衆国の企業がメキシコに生産拠点を移し，工業化が進展した。
2020年代～	2020年に（ 34 ）が発効。NAFTAに比べて自由貿易を一部制限したため，今後，メキシコに生産拠点を置く多国籍企業の動向が注視される。

p.314 p.314 p.314

〔2〕右のグラフはブラジルの輸出品目の変化を示したものである。グラフ中のQに該当する輸出品目を，語群から一つ選び，記号で答えなさい。（ 35 ）



p.314

ア．魚介類　イ．航空機　ウ．石炭　エ．石油製品　オ．鉄鉱石

〔3〕右のグラフは2019年のコーヒー豆の主な輸出国とその割合を示したものである。このグラフからも分かるように，ブラジルは世界最大のコーヒー豆輸出国であるにもかかわらず，〔2〕の2019年のグラフでは上位輸出品目に挙げられていない。その理由を簡単に説明した次の文の空欄x，yにあてはまる適語の組み合わせを，右のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。（ 36 ）



	ア	イ	ウ	エ
x	上昇	上昇	低下	低下
y	上昇	低下	上昇	低下

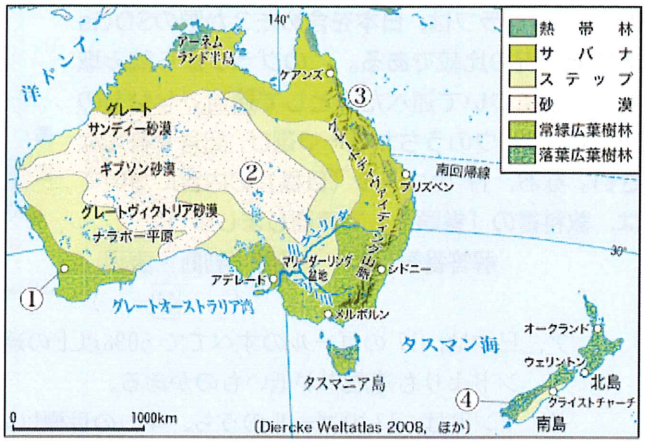
p.313

＜理由＞

ブラジル経済が成長したため，他の輸出品の地位が（ x ）し，コーヒー豆の地位が（ y ）したから。

3．「オーストラリアとニュージーランド」についての問題です。

問1　右の図は，オーストラリアとニュージーランドの自然環境を示したものである。図中の番号①～④で示された地域の自然と産業について説明した文として適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。



解答番号 37　思考・判断・表現

（　37　）

ア．①を中心とする地域では，夏に乾燥する地中海性気候が分布し，郊外ではワインづくりや酪農も盛んである。

イ．②を中心とする地域は乾燥気候であるが，被圧地下水を利用して牧畜が営まれている。

ウ．③を中心とする沿岸地域では，世界最大のサンゴ礁がみられ，観光産業が盛んである。

エ．④を中心とする沿岸では，リアス海岸が発達し，観光地となっている。

問2　右の円グラフは，オーストラリアとニュージーランドの主な輸出品目とその割合を示したものである。次の各問に答えなさい。

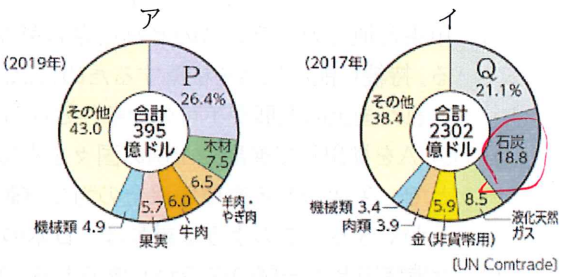
解答番号 38～39　思考・判断・表現

〔1〕右のグラフのア・イは，オーストラリアかニュージーランドのどちらかである。このうち，オーストラリアに該当するものの記号を答えなさい。

（　38　）

〔2〕右のグラフ中のP・Qは，両国の第1位輸出品目である。Pに該当するものを語群から一つ選び，記号で答えなさい。

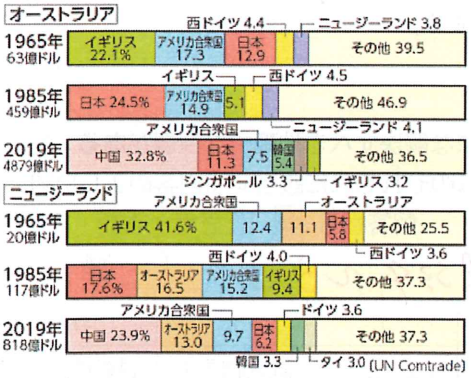
（　39　）



ア．原油　　イ．小麦　　ウ．自動車

エ．鉄鉱石　　オ．乳製品

問3　左のグラフは，オーストラリアとニュージーランドの貿易相手国の変化を示したものである。右の文はこの図から読み取れる貿易相手国の変化をまとめたものである。文中の空欄A～Cには国名が入るが，A～Cと国名の正しい組み合わせを右のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。



解答番号 40　思考・判断・表現

（　40　）

オーストラリアとニュージーランドは1960年代までは（　A　）との結びつきが強かったが，1970年代以降は（　B　）との貿易が拡大し，2000年代以降は（　C　）との経済的結びつきが強まっている。

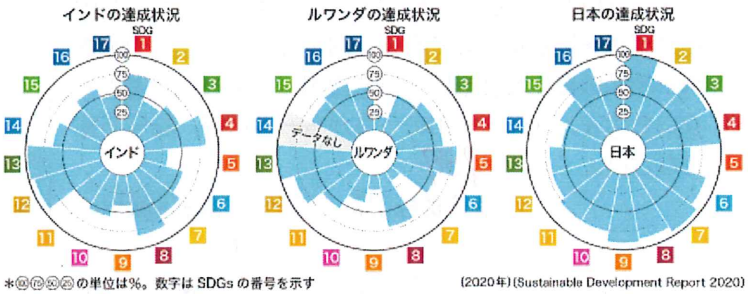
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
A	イギリス	イギリス	中国	中国	日本	日本
B	中国	日本	イギリス	日本	イギリス	中国
C	日本	中国	日本	イギリス	中国	イギリス

4．「持続可能な国土像の探究」についての問題です。

問1　右のグラフは，日本を含めた３か国のSDGsの達成状況の比較である。このグラフから読み取れることについて述べた文として適当でないものを，次のア～ウのうちから一つ選び，記号で答えなさい。なお，17 のゴール（目標）の内容については，教科書の「巻頭3」で確認しましょう。

解答番号 41　思考・判断・表現

（　41　）



ア．日本は，17 のゴールのすべてで 50%以上の達成率を実現しているが，ゴールのなかには，ルワンダやインドよりも達成率が低いものがある。

イ．インドは，17 のゴールのうち，４つの目標以外は，すべて 50%以上の達成率を実現しており，100%の達成率に近いゴールもある。

ウ．ルワンダは，17 のゴールのうち，50%以上の達成率を示しているゴールの数は，インドと同数である。

グラフを確認しましょう（ア）

問2　日本もさまざまな地理的な課題を抱えており，地域の規模（地域スケール）に応じて「世界規模」「アジア規模」「国家（国内）規模」の３つに分類できる。次の文Ａ～Ｃは，課題の具体的な内容を示したものであるが，３つの規模とＡ～Ｃの正しい組み合わせを，右のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。

P.325

解答番号 42　思考・判断・表現

（　42　）

Ａ：中央と地方のバランスのとれた発展が必要である。持続可能な社会を構築するためには，均衡のとれた国土の発展が不可欠な条件となる。

Ｂ：ODAを拠出して発展途上国の国々を支援することで，生活の安定や環境保全の面で貢献することができる。このような貢献は，日本の平和と繁栄にも役立つことになる。

Ｃ：近隣諸国との一層の交流が必要である。特に若い世代の交流を通じ，目先の利害を越えた友好関係の構築が望まれる。

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
世界規模	A	A	B	B	C	C
アジア規模	B	C	A	C	A	B
国家（国内）規模	C	B	C	A	B	A

問3　日常生活や暮らしぶりと関係が深い課題については，都道府県，市区町村，地区といった地域の規模（地域スケール）においての取り組みが求められる。この地域の規模の力のみで実現可能な，地域活性の取り組みとして適当でないものを，次のア～エのうちから一つ選び，記号で答えなさい。　解答番号 43　思考・判断・表現

（　43　）

ア．世界遺産登録に向けて，ユネスコ本部への手続きを進める。（？）

イ．世界ジオパークを生かした地域おこしをする。

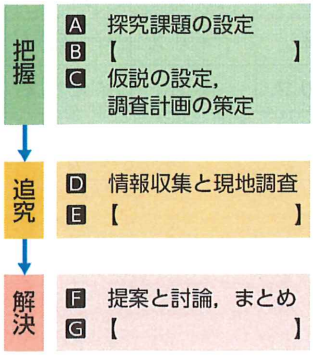
ウ．外国語の観光パンフレットなどをつくり，外国人観光客を誘致する。

エ．地元の特産物の掘り起こしをする。

P.326

問4　持続可能な社会を実現するために，現代の日本の社会には，さまざまな解決すべき地理的な課題がある。左の図は，課題追究の手順についてまとめたものである。図中の空欄Ｂ，Ｅ，Ｇのそれぞれに該当する内容の正しい組み合わせを次のア～カのうちから一つ選び，記号で答えなさい。　解答番号 44　思考・判断・表現

（　44　）



P.328～329　P.334～335

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
B	新たな課題の探究	新たな課題の探究	事前調査	事前調査	調査結果の考察と構想	調査結果の考察と構想
E	事前調査	調査結果の考察と構想	新たな課題の探究	調査結果の考察と構想	新たな課題の探究	事前調査
G	調査結果の考察と構想	事前調査	調査結果の考察と構想	新たな課題の探究	事前調査	新たな課題の探究